

2015年4月吉日

ジェイ・ワークアウト株式会社

## &lt;NEWS RELEASE&gt;

社会を震撼させた事故から10年。

## 『キャッチ！ JR福知山線脱線事故がわたしに教えてくれたこと』、ポプラ社より発売中。

頸髄損傷で車椅子ユーザーとなった当社クライアントさまが綴る、未来へ向けて走り続ける人生の軌跡。



四六版 239 ページ  
 1,400 円 (税別)  
 2015 年 4 月 2 日ポプラ社より発売

「身体は不自由でも、心が自由なら、なんでもできます。」

「日本一、自分のことを障害者だと思っていない障害者と自負しています。」

(岡崎愛子ウェブサイトより)

大学2年生だった2005年4月25日、JR福知山線脱線事故で頸髄を損傷し、車椅子ユーザーとなった岡崎愛子さん(29)。入院期間は被害者最長の377日。今も、装具なしでは字が書けず、お風呂や着替えなど普通の生活にも介助が必要です。それでも、卒業後には東京の企業に就職、専門家のサポートを得ながら一人暮らしをしています。さらに現在は、自分の人生を支えてくれた犬に恩返しをしたいという思いから企業を退職し、「人と犬の生活環境を変えて問題行動を改善するドッグライフデザイナー」として起業を果たしています。

そんな岡崎さんのひたむきな姿勢とそれに寄り添う家族や周囲の人々、そして愛犬との絆が綴られた10年間のノンフィクションが、ポプラ社より好評発売中です。

「人生に一步踏み出す勇気になってほしい」という思いが込められた同書をぜひ手にとっていただけますと幸いです。

岡崎さんと日本初の脊髄損傷者専門トレーニングジム「ジェイ・ワークアウト」(東京都江東区、運営:ジェイ・ワークアウト株式会社、代表取締役:伊佐拓哲)の出会いは2007年の創業当初。以降、岡崎さんは機能回復を目指し続け、車椅子からベッドへの移乗が可能になるなど、少しずつ進化を重ねています。現在は、「車の運転中に右カーブを曲がる際、遠心力に負けハンドルを上手く切れず、危うくガードレールにぶつかりそうになった」という経験から、左の体幹を強くするメニューに励んでいます。また、車椅子ユーザーには不要とされがちな「立つ」トレーニングにも力を入れています。

当社はこれからも、「未来の希望が持てるトレーニング」で、岡崎さんに寄り添っていきたくと考えています。

## ■担当トレーナーより

岡崎さんは、非常に熱心で弱音を吐きません。そして、負けず嫌いで絶対無理とはおっしゃいません。忙しい時間の中で、変わらず週2回のペースでトレーニングを継続することは決して簡単ではないと思います。また、岡崎さんと同じくらいの状態で一人暮らしをしている方は、クライアントさんの中でも非常に少ないです。一人の人間として尊敬しています。

## ■ジェイ・ワークアウト代表(自身も頸髄損傷により車椅子ユーザー)より

岡崎さんは、できないことをできるようにする半端ではない努力ができる女性です。同じ頸髄損傷者として、会社の代表として、その姿勢には常に刺激をいただいています。岡崎さんの強いハートは、障害当事者だけでなくすべての人に強く生きるヒントを与えてくれるはずで

## &lt;報道関係者お問い合わせ先&gt;

ジェイ・ワークアウト株式会社 広報担当 鹿島みき子(株式会社 memento 内)

TEL: 03-5812-4555 / 090-3915-1453 MAIL: m.kajima@memento-pr.co.jp